

❖ 科目名 Course Title			
情報学Ⅱ 入門：情報の科学と情報社会における法・倫理			
❖ 担当教員 Instructor			
布施 泉			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	10 (遠隔) 制限なし (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words	
情報社会, 情報科学, ディスカッション, グループワーク	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
情報学Ⅰの内容を発展的に扱い、情報社会への参画と情報科学の理解のためにさらに必要な知識を学ぶ。	
❖ 到達目標 Course Goals	
<p>情報社会における法・倫理・安全性等を理解できる。  情報科学の基礎となるハードウェア・ソフトウェアおよびネットワークのしくみを原理的に理解できる。  遠隔授業に積極的に関与することで、遠隔授業の効果・課題などについて理解できる（遠隔授業が成立した場合）。</p>	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<p>以下の学習内容に関して、電子スライドやビデオを利用した講義形式に加えて、コンピュータを使ったデータ処理やグループ学習等の実習あるいはeラーニングでの学習を行うこともある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報社会における法と倫理</li> <li>2. 情報社会とセキュリティ</li> <li>3. いろいろな情報のデジタル表現</li> <li>4. コンピュータの構成としくみ</li> <li>5. アルゴリズムとプログラミングの基礎知識</li> <li>6. コンピュータネットワークのしくみ</li> <li>7. コンピュータの将来と限界</li> </ol>	
❖ 成績評価 Grading System	
<p>成績評価は「学習成果の質」（到達目標の達成度）に応じて行う。  授業への参加（出席、講義への取り組み、課題提出等）及び達成度評価（レポート、試験等）により</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報科学の基礎知識に関して正確な理解が得られたかどうか</li> <li>(2) 現代社会における情報技術の役割や発展性を把握できたかどうか</li> <li>(3) 情報社会に参画するための基礎知識や問題意識を深められたかどうか</li> </ol> <p>に関して、総合的に評価する。  なお、「A+」の割合は履修上位の5%程度を目安とする。</p>	
❖ テキスト Textbooks	
❖ 参考書 Reading List	
<p>情報学入門：大学で学ぶ情報科学・情報活用・情報社会 / 大内東, 岡部成玄, 栗原正仁：コロナ社, 2006, ISBN:978-4339024166</p>	

<b>❖ 準備学習 Homework</b> 大学設置基準に従い、15回の授業時間(高々30時間)に、授業時間外の学修を考慮して、90時間の学修を必要とする内容をもって構成している。講義指定図書の該当箇所等を参照し、学習内容に応じ、適宜、準備学習(予習・復習)等を行うこと。
<b>❖ オフィスアワー Office Hour</b>
<b>❖ 連絡先 (E-mail) E-mail</b>
<b>❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information</b>
<b>❖ 履修上の注意 Notes</b>
<b>❖ 備考 Other Information</b>

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。